

第20回建設業経理士検定試験 1級財務分析

【第1問】 解答にあたっては、指定した字数以内（句読点含む）で記入すること。

問1

	10	20	25
成長性分析とは、2期間以上のデータを比較することにより、企業の成長の程度やその要因などを分析すること			
をいう。企業にとって、もっとも重要である収益性を高めるためには、企業の成長が不可欠であることから、成			
5 長性分析が必要となる。なお、成長性分析の方法には、			
完成工事高、付加価値、利益、資本などの実数を比較す			
8 る方法と、資本利益率、完成工事高利益率、回転率など			
の比率を比較する方法がある。			

問2

	10	20	25
成長率は、当期の実績値を前期の実績値で除し100を			
乗じて算定する。成長率が100を超えている場合、プ			
ラスの成長を示しており、100未満であればマイナス			
5 の成長を示している。これに対し、増減率は、当期実績			
値から前期実績値を差し引いた値を前期実績値で除して			
100を乗じて算定する。増減率がプラスの値であれば			
増加率であり、マイナスの値であれば減少率である。成			
8 長性分析では、一般的に増減率が用いられている。			

【第2問】

記号（ア～ハ）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
サ	エ	オ	ネ	タ	ア	ト	ク	シ	カ	ノ	ウ

【第3問】

- (A)

1	0	7	2	0	0	0
---	---	---	---	---	---	---

 千円（千円未満を切り捨て）
- (B)

6	5	8	7	0
---	---	---	---	---

 千円（同上）
- (C)

1	3	2	6	0	0	0
---	---	---	---	---	---	---

 千円（同上）
- (D)

7	4	0	0	0
---	---	---	---	---

 千円（同上）

第20回建設業経理士検定試験 1級財務分析

【第4問】

問1 ￥

				6	1	5
--	--	--	--	---	---	---

 (円未満を切り捨て)

問2 ￥

			8	8	0	0	0
--	--	--	---	---	---	---	---

 (同 上)

問3 ￥

9	3	4	8	0	0	0
---	---	---	---	---	---	---

 (同 上)

問4

2	4
---	---

 % (小数点以下を切り捨て)

問5 ￥

1	5	5	8	0	0	0	0
---	---	---	---	---	---	---	---

 (円未満を切り捨て)

【第5問】

問1

A 経営資本営業利益率

0	3	0
---	---	---

 % (小数点以下第3位を四捨五入し、第2位まで記入)

B 総資本事業利益率

1	2	3
---	---	---

 % (同 上)

C 完成工事高キャッシュ・フロー率

1	4	2
---	---	---

 % (同 上)

D 流動比率

1	2	1	3	9
---	---	---	---	---

 % (同 上)

E 立替工事高比率

2	7	4	8
---	---	---	---

 % (同 上)

F 必要運転資金月商倍率

0	0	6
---	---	---

 月 (同 上)

G 棚卸資産滞留月数

0	5	5
---	---	---

 月 (同 上)

H 有利子負債月商倍率

2	6	2
---	---	---

 月 (同 上)

I 固定長期適合比率

8	5	8	6
---	---	---	---

 % (同 上) 別解 30.74%

J 支払勘定回転期間 (月)

3	4	7
---	---	---

 月 (同 上)

問2

記号 (ア～フ)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
ス	チ	エ	シ	コ	ノ	ニ	ク	サ	オ